

学力向上のために、学校では次のことに取り組んでいます！

☆学習指導の工夫・改善を図ります。

- ・楽しくわかる授業の実践
- ・教科の基礎・基本がきちんと身に付く学習指導
- ・自分の考えを書くなど、自分の考えをまとめる場づくり

☆個に応じた指導を充実することで、 学び方を身に付け、学習に粘り強く 取り組む力を伸ばします。

- ・ノートのとり方やまとめ方、
復習や予習の仕方などの学び方の指導
- ・学ぶ意欲や目的を見つけ、自分の目標をやりとげる
喜びを重ねていくことができるような支援

☆教師と児童生徒、児童生徒 相互の信頼関係を高め、共に 学び合い高め合う集団づくりに努めます。

- ・児童生徒一人一人の思いや願いを
集団の中で生かし、自尊心を高める指導の工夫
- ・一人一人のよさを認め合うなど、
学級や学校への所属感がもてる集団づくり
- ・友達の見方や考え方から学び、協力して学習する
楽しさを味わうことができる学習方法の工夫

☆問題を解決しようとする力や、 創意工夫する力、 社会とかかわる力などを育みます。

- ・総合的な学習の時間など各教科等の学習の充実
- ・ふるさと教育やキャリア教育の充実

☆家庭での生活習慣や学習習慣の改善を 図るとともに、家庭でのふれあいが 深まるよう、家庭との連携を深めます。

- ・学習習慣が身に付くような宿題の出し方の工夫
- ・生活習慣や学習習慣づくりの大切さや意義を、
児童生徒と保護者が共に理解し合える場の設定
- ・読書習慣が身に付くような学校図書館教育等の充実

一平成18年度 島根県学力調査 報告書「確かな学力」を
総合的に育成するための視点（小・中学校）
～分析結果から明らかになった学力を高める5つの窓と
改善のキーポイント～より要約

学力調査の結果については、
義務教育課HPに掲載しておりますので、ご覧ください。
○報告書HP
<http://www.pref.shimane.lg.jp/gimukyoiku/houkokusho.html>
○リーフレットHP
<http://www.pref.shimane.lg.jp/gimukyoiku/leaflet.html>
(研修等にご活用下さい。)



島根県学力調査の実施内容

調査対象	小学校3年～中学校3年の児童生徒
調査実施日	平成18年5月9日（火）・5月10日（水）
実施教科	小学校3年～4年……国語・算数 小学校5年～6年……国語・算数・社会・理科 中学校1年……国語・数学・社会・理科 中学校2年～3年……国語・数学・社会・理科・英語

※「意識に関する調査」を
すべての学年で実施

おわりに…

子どもたちの学力向上のために、学校、家庭がそれぞれの役割を果たすとともに、
お互いがよく理解し合って、一緒に取り組んでいきましょう。

島根県の小学生・中学生の保護者の皆様方へ

～平成18年度 島根県学力調査結果からわかったこと～

お子さんと語っていますか？

「確かな学力」をはぐくむために家庭でできる3つのポイント

ポイント1

「ふれあい」



学力向上
トライアングル



ポイント2

「生活リズム」

ポイント3

「学習習慣」

平成18年5月に、小3～中3の児童生徒を対象に、教科および意識に関する学力調査を行いました。
その結果、家族とのかかわり方や過ごし方と学力の間には、深いかかわりがあり、学力向上のためには、
家族とのふれあいや生活リズム・学習習慣づくり(学力向上トライアングル)が大切であることがわかりました。
今、家庭と学校で何ができるか一緒に考えてみましょう。

「確かな学力」とは、知識や技能はもとより、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、
行動し、よりよく問題を解決する資質や能力ととらえています。
なお、この学力調査は「確かな学力」の一部分を調査したものです。

家族とのかかわり方や過ごし方について 肯定的な回答（とても思う・そう思う）をした児童生徒は 平均到達度が高い傾向が見られます！

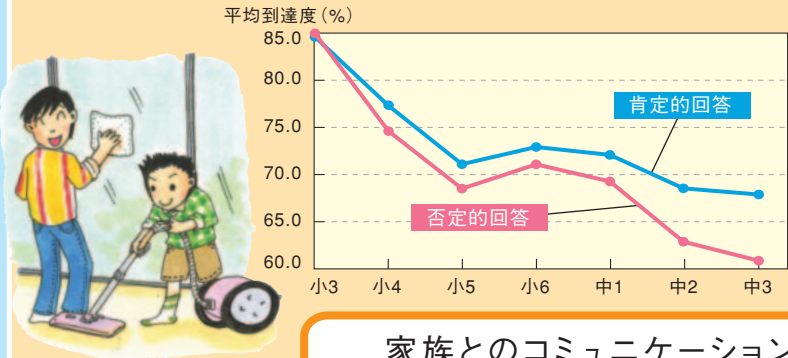
できることから始めましょう！

～子どもの学力を伸ばすために、家庭でできる3つのポイント～

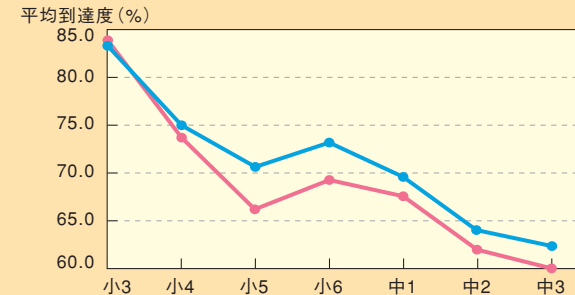
ポイント1 「ふれあい」

※平均到達度は、テストの平均点と同じ意味を持ちます。

「家族から世の中のふしぎな話や感動する話を聞く。」



「家族の一員として何かの役割を任されている。」



家族とのコミュニケーションや家庭内での子どもの役割の有無と教科の学力との間には、特に小学校高学年以上で関連が見られました。

ポイント1 お子さんとどんな話をしていますか？

○言葉の
キャッチボールを大切に！

子どもの年齢に応じて話を聞いたり、ちょっとした生活のできごとや人としての生き方やあり方、保護者の願いを話したりすることが、子どもの心の安定や成長につながります。

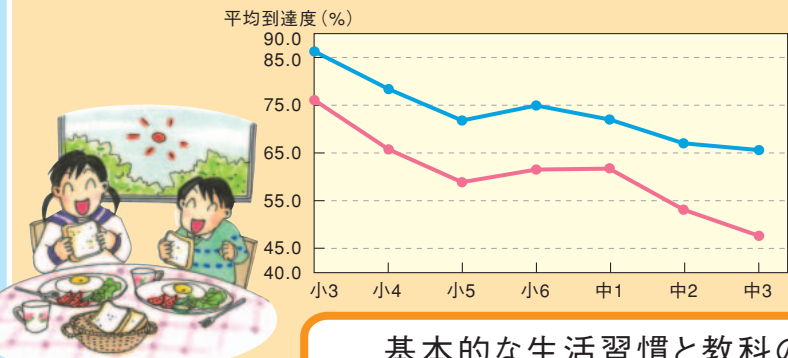
○なかなか家族揃っての
時間がとれない場合は…

たとえば、計画的に手伝いをさせたり、同じ趣味を楽しんだり、年齢に応じてお風呂に一緒に入ったりすることも一つの方法です。手伝いは、草取りや窓ふき、年末の大掃除など、日常生活の中で保護者と一緒にできることをさせることが、自然に会話を増やすコツです。

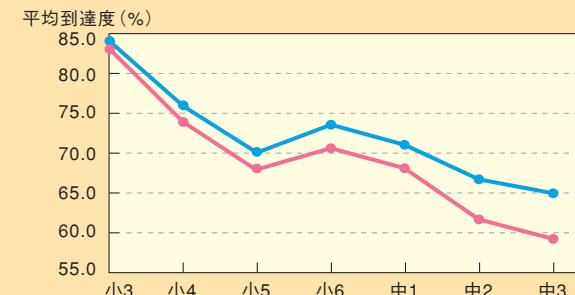


ポイント2 「生活リズム」

「朝食は毎日食べるようにしている。」



「夜は決まった時間に寝ている。」



基本的な生活習慣と教科の学力の間には関連が見られました。特に朝食については、どの学年でも関連が見られます。

ポイント2 「早寝・早起き・朝ごはん」

○生活リズムを
見直しましょう！

朝ごはんを食べる、夜は決まった時間に寝る…規則正しい生活リズムは学力の向上には不可欠です。特に朝ごはんは、体温や血糖値を上昇させ、一日の学習意欲や集中力を高めるために必要です。

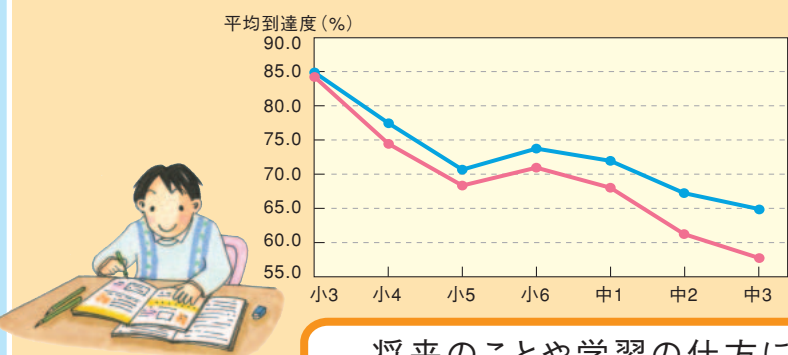
○「なかなか早起きできない」
という場合は…

たとえば、今より10分早く寝ることを実行させましょう。テレビを見る時間や寝る時間について家族で見直すことも一つの方法です。

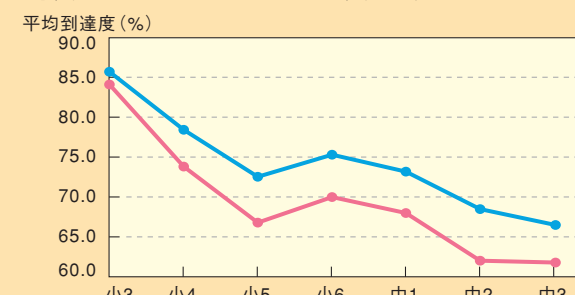


ポイント3 「学習習慣」

「将来の夢やこれからの進路について家族と話す。」



「よく確かめて、
勘違いや思い込みをなくすよう言われている。」



将来のことや学習の仕方について家族と話すことと教科の学力との間には、特に小学校高学年以上で関連が見られました。

ポイント3 お子さんに何を伝えていきますか？

○お子さんのよさを見つけ、
夢や希望を語りましょう！

お子さんのよいところを伝えたり、将来の夢や希望をもち、それに向かって努力することの大切さを伝えたりしましょう。子どもは認められ、目標をもつと、意欲が高まり、何事にも前向きに取り組もうとします。

○学習習慣が
身に付いていない場合には…

持ち物や宿題など、翌日の学校での学習の準備がきちんとされているか、また、テストで間違ったところはきちんと見直しをしているかなど、自分でできるように声かけをしてみる…。できるところから始めてみましょう。

